

8. 近畿（地域別調査機関：りそな総合研究所株式会社）

（－：回答が存在しない、＊：主だった回答等が存在しない）

分野	景気の先行き判断	業種・職種	景気の先行きに対する判断理由
家計 動向 関連  (近畿)	◎	百貨店（服飾品担当）	・新型コロナウイルスの新規感染者数が横ばいで推移し、来店客の感覚がコロナ禍前に近い状態に戻っている。予断は許されないものの、前向きな購買スタイルに戻ってきたと感じる。海外への渡航はまだまだ先が見えないものの、その分、国内での消費に関心が向いている。その一方、外国人の来日はまだ難しいが、代理購買による売上が伸びており、現地では購入できない希少性の高い商品への需要はかなり高まっている。今後、徐々にインバウンド市場は回復に向かうことから、上向きとなることが予想される。
	◎	百貨店（外商担当）	・新型コロナウイルスの感染第6波への懸念はあるが、感染対策を続ければ、リベンジ消費の勢いは加速すると予想される。
	◎	百貨店（マネージャー）	・新型コロナウイルスの感染状況が小康状態のなか、前年の緊急事態宣言による影響の反動もあり、国内消費では慎重な行動や購買活動が続き、一定の景気改善は進むと予想される。本格的な改善には、海外を含めたコロナ禍の収束や、旅行業の回復がポイントとなる。
	◎	家電量販店（経営者）	・省エネ型給湯器を始め、半導体不足で納期が遅れている商品の納入が進めば、販売量が増え、景況感は上向くと予想される。
	◎	観光型ホテル（客室担当）	・コロナ禍が収束することにより、状況は良くなる。
	◎	ゴルフ場（支配人）	・年末年始の大雪の影響で、営業ができていない。季節要因であるが、景気は悪化している。今後営業が可能となれば、景気は良くなる。
	○	一般小売店〔衣服〕（経営者）	・1月に入ると、衣料品店は特に売上が伸びる時期であるため期待している。ただし新型コロナウイルスの新規感染者数が増えると、また来客数が減ってしまうため、例年のようにには期待できない。
	○	一般小売店〔菓子〕（営業担当）	・前年と比べると落ち込みは少ない気がするが、新型コロナウイルス新変異株の感染が広がることを考えると、先行きが心配である。
	○	百貨店（売場主任）	・新型コロナウイルスの感染第6波が心配されるが、ウイルスの弱毒化も含めて、安心材料も出ている。今後は順調に回復することを期待している。
	○	百貨店（店長）	・新型コロナウイルスの新規感染者数が増えなければ、国内外での旅行が増え、人流もより一層増える。それに伴い、消費の増加が予想される。
	○	百貨店（マネージャー）	・新型コロナウイルス新変異株の感染拡大や3回目のワクチン接種など、様々な要素が見受けられるが、リベンジ消費への意欲は引き続き高まると予想される。特に、春に向けては外出の機会が増えるため、衣料品の買換え需要に期待している。
	○	スーパー（店長）	・コロナ禍の動向次第で分からない面もあるが、前年は年明けも販売不振であったため、景気は良くなると予想している。
	○	コンビニ（経営者）	・企業の出勤人数は、現在の低い水準が続きそうであるが、出張や観光客の動きが出てくることで、周辺のホテルの宿泊者数は増加が見込まれる。それに伴い、来客数の増加が期待できる。
	○	コンビニ（経営者）	・このまま景気が回復することを期待している。
	○	コンビニ（店長）	・前年に比べて、コロナ禍の影響が小さくなっている。
	○	衣料品専門店（店長）	・まだまだ新型コロナウイルスの影響が続くなか、様々な報道もあるが、深刻な影響は回避できている。新型コロナウイルス新変異株に関しても、重症化しにくいという特徴を前向きに捉え、3か月後に来店するという声もあるため、今後に期待している。
○	家電量販店（店員）	・子育て世代への給付金による需要が見込めるため、売上にも好影響が出る。	

○	乗用車販売店（経営者）	・新型コロナウイルスの感染が収束に向かってはいるが、新型コロナウイルス新変異株の動向次第では悪くなる可能性がある。
○	乗用車販売店（販売担当）	・需要はあるが、商品が圧倒的に少ない。景気は回復傾向にあるものの、販売台数の動きは全く追いついていない。
○	その他専門店〔医薬品〕（管理担当）	・マスクなどの衛生用品の売上は依然として伸びないが、食品や日用雑貨、嗜好品の売上は増加し、客単価も上昇傾向にある。今後も同様の傾向が続くと予想される。
○	その他小売〔インターネット通販〕（経営者）	・今の状況を反映して、商店街の各店舗が販売を強化し、従来の販売方法を新たに見直せば勝算はある。
○	一般レストラン（企画）	・客単価の上昇により、売上はカバーできると予測しているが、来客数は深夜の営業時間の短縮もあり、元に戻ることは難しい。また、新型コロナウイルスの新規感染者数も増加傾向にあり、感染症対策の内容によっては悪化することも考えられる。
○	都市型ホテル（スタッフ）	・少人数での宴会のほか、クリスマスディナーといったイベント関連の客足が戻っている。一方、来月以降も1テーブルで4人までという制限が延長されたことで、宴会のキャンセルが相次いでいる。また、新型コロナウイルス新変異株の発生による自粛の動きも増えており、厳しい状況がしばらく続くと思われる。
○	都市型ホテル（管理担当）	・新型コロナウイルス新変異株の感染対策ができるようになり、春のシーズンには宿泊客が増加すると予想している。
○	都市型ホテル（管理担当）	・人流が回復傾向にある。
○	都市型ホテル（販売促進担当）	・新型コロナウイルスの影響がなければ、必ず良くなる。営業先でも、取引先からはコロナ禍次第と聞いている。府の観光振興策で動きが増えたと感じるため、本当に客が動き出すのは、完全にコロナ禍が落ち着いた後であり、不安がなくなるのは更に先であると感じる。
○	旅行代理店（店長）	・新型コロナウイルスの新規感染者数が急激に増えることなく、Go To Travelキャンペーンが再開されれば、一時的に販売が増えてやや良くなる。
○	旅行代理店（支店長）	・経口薬の普及や、Go Toキャンペーンの再開決定、インバウンドの入国に関する規制緩和の開始など、世の中の交流を促す動きが増えると予想される。
○	旅行代理店（役員）	・県民割の対象地域が、大阪や京都、岡山、鳥取、香川といった隣接府県にも拡大されるため、更なる需要の拡大が予想される。
○	タクシー運転手	・年末年始にかけて、少しずつ旅行のパンフレットの配布数が増えている。今後は、新型コロナウイルス新変異株の感染状況次第となるが、3回目のワクチン接種もあるため、ある程度は抑えられると期待される。
○	観光名所（経理担当）	・新型コロナウイルス新変異株の重症化率が低いことに加え、重症化を防ぐ飲み薬も出ており、感染したら終わりという状況から変化してきている。
○	遊園地（経営者）	・平時の水準は下回るものの、前年を大きく上回る来客があり、消費にも積極的で、前月よりも回復が実感される。新型コロナウイルス新変異株の発生による影響は、現時点ではみられないものの、まだ明るい見通しを持つまでには至らず、投資などの判断は慎重にならざるを得ない。
□	商店街（代表者）	・新型コロナウイルス新変異株の感染拡大が予想されるため、高齢者の外出が慎重になる。
□	一般小売店〔時計〕（経営者）	・新型コロナウイルスの影響が少し落ち着いたようにみられるが、まだまだ油断できない状況である。客と話をしていると、多くの人が疑心暗鬼になっている。お金を使わずに、持っていることで安心すると感じるため、まだまだ景気はシビアな状況が続くそうである。
□	一般小売店〔花〕（経営者）	・このまま取引先の営業が安定してくればよいが、新型コロナウイルス新変異株の影響でどうなるか、全く予想がつかない。
□	一般小売店〔野菜〕（店長）	・来年以降、新型コロナウイルス新変異株の感染が広がるとあれば、急激に状況が変わる。

<input type="checkbox"/>	一般小売店〔呉服〕（店員）	・店舗が来場者の多い大型商業施設に入っているため、密となる状況を恐れて、来店を控えることが考えられる。
<input type="checkbox"/>	百貨店（売場主任）	・新型コロナウイルスの感染収束時期が不透明であり、原材料価格や物流費の高騰で商品単価も上昇している。中間層の客は所得が増えないなか、積極的な消費には結び付かない。取引先でも人件費の削減や商品の生産抑制といった経費削減の施策が目立っており、大きな改善は望めない。
<input type="checkbox"/>	百貨店（企画担当）	・10月以降、改善傾向が続いてきた国内売上は、ほぼ現状のまま推移すると予想される。インバウンド売上についても、当面は今のままと考えられる。
<input type="checkbox"/>	百貨店（企画担当）	・このまま少しずつでも回復すればよいが、新型コロナウイルス新変異株の感染が拡大すれば、現在の向上傾向は止まってしまう。いずれにしても、コロナ禍前の水準に戻ることはない。
<input type="checkbox"/>	百貨店（売場マネージャー）	・新型コロナウイルス新変異株の発生により、徐々に新規感染者数が増加傾向にある。増加のペースによっては、先行きの不透明感が更に高まる。
<input type="checkbox"/>	百貨店（サービス担当）	・今後は新型コロナウイルス新変異株の市中感染の拡大が懸念されるが、今までの感染症対策を参考に営業活動を維持することで、売上は確保できると考えられる。
<input type="checkbox"/>	百貨店（売場マネージャー）	・10月に全国で緊急事態宣言が解除され、来客数が増加傾向となっているが、今後は新型コロナウイルス新変異株の感染状況に左右されると懸念している。
<input type="checkbox"/>	百貨店（販促担当）	・今はコロナ禍からの反動で、動きが活発化しつつあるが、春先も同様に活発な動きが続くと予想される。新型コロナウイルス新変異株の感染拡大への懸念はあるが、3回目のワクチン接種や更なる医薬品の開発期待などから、緊急事態宣言が発出されるような状況にはならない。2年ぶりに春を満喫し、花見や新年度の集い、お祝い需要などで消費が活発に動く予想している。今後も、良い物やこだわりの物を中心とした商品展開や、体験型商品の提案が重要だと認識している。
<input type="checkbox"/>	百貨店（商品担当）	・新型コロナウイルスの感染第6波の発生で、不安な年末年始となりつつあり、前月から回復に向かっていった売上にも少しブレーキが掛かっている。新型コロナウイルス新変異株に対応したワクチンの追加接種や、治療薬、医療体制の整備、ウィズコロナの体制の確立といった条件がそろうまで、消費の回復には少し時間が掛かりそうである。
<input type="checkbox"/>	百貨店（販売推進担当）	・新型コロナウイルスの感染第6波が気掛かりであるが、発生しなかったとしても、コロナ禍前とは生活様式が大きく変わっており、以前の水準に戻ることは困難である。
<input type="checkbox"/>	百貨店（営業推進担当）	・新型コロナウイルス新変異株の感染拡大に伴う不安から、消費マインドは大きく回復しない。
<input type="checkbox"/>	百貨店（マネージャー）	・売上の推移を景気の変化と考えると、次のような2つの動きがみられる。1つは、新型コロナウイルス新変異株などの感染拡大で、直近の来客数や売上は増加傾向が止まりつつあり、ここ数か月のような回復傾向がみられない。2つめは、来客数は増加しているものの、売上が比例していない。コロナ禍の影響は大きいですが、必要な物と不要な物との選別が消費者の間に根付きつつある。その結果、今後は成長するカテゴリーと悪化するカテゴリーが二極化し、結果的に売上は大きく変わらないと予想される。
<input type="checkbox"/>	百貨店（特選品担当）	・新型コロナウイルス新変異株による新規感染者数が、日に日に増えている。重症者数は少ないものの、今までの経験から先行きは不透明であり、油断はできない。
<input type="checkbox"/>	百貨店（宣伝担当）	・新型コロナウイルス新変異株の脅威はあるものの、感染対策をきっちりしていれば、必要以上に不安がらなくてよいとの認識が、高齢者にもある程度浸透している。急激な人流の減少は、取引先を含めて想定しておらず、年明けから春にかけては、前々年比で80～90%まで売上が回復すると予想し、商材を確保している。
<input type="checkbox"/>	スーパー（店長）	・まだコロナ禍の収束が見通せないなか、状況は大きく変わらない。

<input type="checkbox"/>	スーパー（店長）	・新型コロナウイルス新変異株の感染拡大のおそれが出てきたため、外出や旅行、帰省などにブレーキが掛かってくる可能性がある。
<input type="checkbox"/>	スーパー（企画担当）	・新型コロナウイルス新変異株の感染拡大による外出自粛がなければ、現状の動きが続く。
<input type="checkbox"/>	スーパー（企画担当）	・新型コロナウイルス新変異株の新規感染者数が増えている状況で、以前のような自粛モードになると、家庭内での食事や調理需要が増える。食品スーパーとしては売上の増加につながるが、いい加減に通常の消費に戻ってほしい。
<input type="checkbox"/>	スーパー（経理担当）	・新型コロナウイルス新変異株の感染拡大傾向がみられ、今後の推移が懸念される。ただし、重症化リスクが大きくなり、経済活動に大きな制約がなければ、外出や外食などの支出も増加し、平常時の動きに戻っていくと考えられる。その場合、食品スーパーとしては売上減少となる。
<input type="checkbox"/>	スーパー（販売促進担当）	・コロナ禍に対する警戒感が落ち着き始めたと感じる。コロナ禍前の生活スタイルには戻らず、現状がしばらく続くと予想している。
<input type="checkbox"/>	スーパー（開発担当）	・値上げなどによる物価の上昇により、景気が悪化していく。その影響で賃金の上昇は見込めず、インフレだけが進んでいく。
<input type="checkbox"/>	コンビニ（経営者）	・新型コロナウイルス新変異株の新規感染者数が増えている。感染を抑えられるかどうかで、今後の経済状態が変わってくる。
<input type="checkbox"/>	コンビニ（経営者）	・どの職種でも人員が不足している。売上が完全に回復したわけでもないのに、人手不足に陥っているため、満足な経営ができない。
<input type="checkbox"/>	コンビニ（店長）	・来客数は微増であるが、徐々に増えているわけではない。しばらくはコロナ禍前の状態に戻る気がしない。
<input type="checkbox"/>	コンビニ（店員）	・今の状況では、景気が上向き期待は薄い。
<input type="checkbox"/>	コンビニ（店員）	・年末年始でさえ売上は伸びず、買い控えの傾向がある。子育て世代に対する給付金も、貯金に回るといふ声をよく聞く。
<input type="checkbox"/>	衣料品専門店（経営者）	・新型コロナウイルス新変異株の感染拡大が予想され、景気の回復は見込めない。ただし、来年度には多少期待している。
<input type="checkbox"/>	衣料品専門店（営業・販売担当）	・高額のスーツは売れるが、一般価格のスーツが売れない。
<input type="checkbox"/>	家電量販店（企画担当）	・世界的な半導体不足のほか、ガス給湯器や省エネ型給湯器、トイレ、IHクッキングヒーターなども部品が欠品となっている。在庫のない状態が続いているため、見通しが立たない。
<input type="checkbox"/>	乗用車販売店（経営者）	・新型コロナウイルスの影響で新車の納期が遅れているため、売上が良くない。
<input type="checkbox"/>	乗用車販売店（経営者）	・新型コロナウイルス新変異株の感染拡大懸念はあるものの、一時的にコロナ禍が収束しているため、消費が戻ってきている一方、人手不足が深刻な問題になっている。今後は新型コロナウイルス新変異株の感染拡大が懸念されるため、景気もまだ正常には戻らない。
<input type="checkbox"/>	乗用車販売店（販売担当）	・新型コロナウイルスの世界的な感染状況から、部品供給面での回復が期待できない。メーカーの増産に期待するのは危険である。
<input type="checkbox"/>	乗用車販売店（営業担当）	・少し回復するものの、半導体不足の影響で納期が遅れていることもあり、横ばいでの推移が予想される。
<input type="checkbox"/>	その他専門店 [宝石]（経営者）	・新型コロナウイルスの影響と、物価の上昇が続いていくため、客の心理面に対するネガティブな影響が続く。
<input type="checkbox"/>	その他専門店 [ドラッグストア]（店員）	・新型コロナウイルス新変異株の感染拡大により、更に来客数が減る。旅行関連の商品も余り動いてないように感じる。
<input type="checkbox"/>	その他専門店 [スポーツ用品]（経理担当）	・停滞した経済情勢に大きな変化はない。特定の人に給付金を出しても、給付を受けない人の消費に変化はない。ただし、年末年始の消費に限っては期待感がある。
<input type="checkbox"/>	その他専門店 [ガソリンスタンド]（経理担当）	・新型コロナウイルスの感染第6波が、いつどのような規模で発生するのかが不透明であるため、今後の予想は立てにくい。

<input type="checkbox"/>	その他小売 [インターネット通販] (オペレーター)	・新型コロナウイルスの感染第6波にもよるが、今のところは目立った新商品の予定もないため、変わらない。
<input type="checkbox"/>	高級レストラン (スタッフ)	・今月は自粛解除の動きと年末商戦が重なったが、年明けはある程度動きが落ち着く。
<input type="checkbox"/>	高級レストラン (企画)	・Go To Travelキャンペーンの再開はあるものの、新型コロナウイルスの感染第6波の影響が、来年1～2月頃に顕在化することが予想される。
<input type="checkbox"/>	一般レストラン (店員)	・新型コロナウイルス新変異株の影響がどうなるかによって、今後の状況が左右される。
<input type="checkbox"/>	その他飲食 [ファーストフード] (店員)	・新型コロナウイルスの新規感染者数は一旦減少しているが、新型コロナウイルス新変異株が発生したため、客の間では買い控えがみられる。
<input type="checkbox"/>	その他飲食 [自動販売機 (飲料)] (管理担当)	・まだまだ思い切って外出する気になれないなど、コロナ禍の収束までにはまだ時間が掛かる。
<input type="checkbox"/>	観光型ホテル (経営者)	・新型コロナウイルスの感染収束に大きな期待を持っていたが、新型コロナウイルス新変異株が発生し、様々な活動が止まっている。
<input type="checkbox"/>	都市型ホテル (総務担当)	・新型コロナウイルス新変異株の感染拡大が予想されるが、重症者数や死者数の増加には至らない。
<input type="checkbox"/>	タクシー運転手	・新型コロナウイルス新変異株の感染状況を皆が注視している。不安を解消する材料が3回目のワクチン接種しかなく、感染拡大による影響が今後の動きにすぐ反映されるため、まだまだ景気は平行線をたどる。
<input type="checkbox"/>	タクシー運転手	・企業による年末の挨拶回りなどでのハイヤー予約が復活しつつあるが、飽くまで季節的な需要であり、先行きに期待はできない。
<input type="checkbox"/>	通信会社 (経営者)	・新型コロナウイルス新変異株の影響で、今後も厳しい状況が続く。
<input type="checkbox"/>	通信会社 (企画担当)	・緊急事態宣言解除後は、アミューズメント施設の集客が改善傾向にあり、ゲーム機の新製品購入が期待できる。ただし、新型コロナウイルス新変異株により状況が再び悪化する懸念もあるため、予断が許されない。
<input type="checkbox"/>	テーマパーク (職員)	・景気に復調の気配がみられるたびに、増税をちらつかせるなど、現政権は消費を拡大したいのか、増税がしたいのかよく分からない。このような状態では消費者の財布のひもが緩むことはないため、厳しい状況が続く。
<input type="checkbox"/>	観光名所 (企画担当)	・新型コロナウイルスの新規感染者数が減少し、社会生活が少し戻っているが、これまでのこともあり、まだ現状ではどうなるか判断が付かない。
<input type="checkbox"/>	競艇場 (職員)	・今年はコロナ禍の影響でインターネット投票の会員が増加し、高い水準で売上が増えた。また、土日、祝日には、本場や場外発売場への若年層の来場が確実に増えている。新型コロナウイルスの今後の感染状況にもよるが、しばらくは今の好調が続くそうである。
<input type="checkbox"/>	その他レジャー施設 [イベントホール] (職員)	・新型コロナウイルス新変異株の感染状況によるが、全体的には人流が戻りつつあると感じる。新型コロナウイルス新変異株がブレキになっているため、仮に重症化しないとの判断が出れば、経済活動が活発化する。
<input type="checkbox"/>	その他レジャー施設 [複合商業施設] (職員)	・新型コロナウイルス新変異株による感染第6波の影響次第であるが、消費マインドは低下している。
<input type="checkbox"/>	その他レジャー施設 [球場] (経理担当)	・新型コロナウイルスの新規感染者数は少ない状態を維持しているが、今後は新型コロナウイルス新変異株の感染拡大が懸念される。プロ野球シーズンが終わり、1～2月はイベント開催日が5日間であるため、来場者数は減少する。なお、3か月後の状況は不透明であるため、現状と変わらないと判断される。
<input type="checkbox"/>	美容室 (店員)	・客の購買意欲をみると、今後も大きくは変わらない。
<input type="checkbox"/>	その他サービス [マッサージ] (スタッフ)	・オイルマッサージで服を脱ぐため、寒い時期よりも、暑い時期の方が来客数は増える。
<input type="checkbox"/>	その他住宅投資の動向を把握できる者 [不動産仲介] (経営者)	・金融機関の融資姿勢に変化はみられない。今後は新型コロナウイルスの感染状況に左右されるため、良くなるとも悪くなるともいえない。

□	その他住宅 [展示場] (従業員)	・バーチャルリアリティを使った各展示場のモデルハウス紹介をSNSで展開し、見学の予約数を増やして契約につなげる手法が主流となっている。コロナ禍でイベントが実施できない影響は、今後もないと考えられる。
□	その他住宅 [住宅設備] (営業担当)	・制御基盤や配線、スイッチ類といった電気系統の部材調達が大きく遅れており、回復の見通しが立たない。客への部品交換の提案にもストップが掛かっており、販売の機会損失が生まれている。
□	その他住宅 [情報誌] (編集者)	・富裕層向けの投資用不動産は、引き続き好調に推移する見込みであるが、実需用不動産の今後の動向が懸念される。
▲	一般小売店 [事務用品] (経営者)	・新型コロナウイルス新変異株の発生もあり、今後は様々な業種に支障が出てくる。
▲	一般小売店 [鮮魚] (営業担当)	・前受け受注もほとんどなく、先行きが不透明である。
▲	百貨店 (外商担当)	・新型コロナウイルス新変異株の感染が広がる可能性があり、それに伴って消費が再び冷え込むと予想される。
▲	スーパー (経営者)	・小麦粉や大豆、植物性油脂など、家畜の飼料にも使われるベーシックな商材の値上げが前年は相次ぎ、今後も予定されている。一部の商品は5回目の値上げとなっている。世界の景気、特に日本の景気の回復が鮮明であれば、値上げを吸収できるが、それが難しければ必ず価格競争が復活する。現状、新型コロナウイルス新変異株の感染拡大も懸念されており、先行きは不透明である。
▲	スーパー (店長)	・原材料価格の値上げもあり、年明け後は買い控えや節約傾向が強まると予想される。
▲	スーパー (店員)	・当店のすぐ近くに、同じ24時間営業のスーパーがオープンするため、かなり影響を受けそうである。
▲	スーパー (社員)	・新型コロナウイルス新変異株の感染拡大が懸念されている。ただし、これまでは感染の拡大や外食の時短営業が内食需要の増加につながってきたが、徐々につながりにくくなっていると感じる。むしろ、客の節約志向の高まりが気掛かりである。
▲	コンビニ (店員)	・新型コロナウイルスの感染拡大による影響が出てくる。最近では気の緩みも感じられ、マスクを着用していない人も増えていると感じる。買物の量などは特に変わらないが、これから少しずつ影響が出てくると予想している。
▲	コンビニ (店員)	・例年2月は売上が落ちる。
▲	衣料品専門店 (販売担当)	・新型コロナウイルス新変異株の新規感染者が増えると予想される。今後の状況次第では、また緊急事態宣言が発出されると心配している。
▲	家電量販店 (店員)	・18歳以下に対する給付金の効果が期待されたが、来客数の増加がみられない。店舗では給付金に関する対策を講じているが、全く効果がない。来客数が増加し、購買意欲も回復しない限り、厳しい状況は続く。
▲	家電量販店 (店員)	・コロナ禍の継続で、仕事を含めた生活環境が変化しており、全体的にあと4～5年は現状維持が続きそうである。特に、高校生ぐらいまでの子を持つ世帯は、世代的にも厳しいため、食べる物以外は貯蓄が優先される。
▲	家電量販店 (営業担当)	・ここへきて新型コロナウイルス新変異株の感染が広がりそうで、また自粛ムードが強まりそうである。
▲	家電量販店 (人事担当)	・新生活需要への期待もあるが、地元重視の就職や進学も多く、厳しい状況が続きそうである。
▲	その他専門店 [宝飾品] (販売担当)	・人流は増えているが、来客数は相変わらず少ない。客からの話でも、控えていた旅行や会食などの話が増えているように、消費は旅行や飲食に向かっている。
▲	一般レストラン (経営者)	・新型コロナウイルスの感染状況について、まだまだ油断できないため、まん延防止等重点措置や緊急事態宣言が発出される不安は大きい。外食産業の景気が回復するためには、やはりコロナ禍の収束が必要であり、まだ時間が掛かる。
▲	一般レストラン (経営者)	・新型コロナウイルス新変異株の感染状況次第で、来客数は減少する。
▲	観光型ホテル (経営者)	・1月4日から県民割の対象地域が拡大されるものの、Go To Travelキャンペーンの再開時期もまだ発表されておらず、余り明るい材料がない。

	▲	観光型旅館（経営者）	・新型コロナウイルスの感染状況と、Go To Travel キャンペーンの再開時期に大きく左右されるため、予想が難しい。
	▲	観光型旅館（経営者）	・Go To キャンペーンの再開待ちか、少し動きが悪くなっている。
	▲	都市型ホテル（フロント）	・元々閑散期に当たるほか、都市の中心から外れた立地であるため、自治体の施策による恩恵を受けにくい。
	▲	都市型ホテル（客室担当）	・緩やかながら予約数は回復していたが、新型コロナウイルス新変異株の影響で予約のペースが急激に落ち、キャンセルも増加している。増えていた間際の予約も減少している。
	▲	タクシー運転手	・新型コロナウイルス新変異株の影響で悪くなる。
	▲	通信会社（社員）	・新型コロナウイルス新変異株の感染拡大状況や、それに伴う緊急事態宣言の発出の有無にも左右される。
	▲	通信会社（社員）	・消費がなかなか戻らない状況で、多チャネルサービスについては、インターネット経由での提供に切り替わる傾向が顕著である。サービスの利用が何とか増えていることが、頼みの綱である。
	▲	通信会社（企画担当）	・新型コロナウイルス新変異株による、感染第6波の発生が予想される。
	▲	その他レジャー施設〔飲食・物販系滞在型施設〕（企画担当）	・新型コロナウイルス新変異株による、感染第6波の発生を懸念している。
	▲	その他サービス〔学習塾〕（スタッフ）	・新型コロナウイルス変異株の感染が落ち着いたところで、新たに新型コロナウイルス新変異株の感染拡大の兆しがみられる。先行きへの不安感が消費にも影響を与える。
	▲	住宅販売会社（経営者）	・既存住宅の在庫が激減しており、今後は成約件数の減少が予想される。材料の調達も難しくなっていることから、新規着工件数にも影響が出る。
	▲	住宅販売会社（経営者）	・今年の夏頃から、建築建材の価格が上がり始めており、いまだに上昇が続いている。
	▲	住宅販売会社（経営者）	・インターネットの活用に向けた、大手流通企業への需要の集中が加速し、中小零細企業は厳しい状況が続くと予想される。
	×	一般小売店〔衣服〕（経営者）	・新型コロナウイルス新変異株の感染が今後拡大すれば、再び新規感染者数が増えると予想される。海外の様子を見る限り、日本もまた大きく増える不安があるため、景気の悪化が懸念される。
	×	スーパー（店員）	・2～3月に、12月の売上を上回ることは厳しい。新型コロナウイルスの新規感染者数が増えているため、数か月後の客足に不安もある。
	×	衣料品専門店（経営者）	・家族で公園や街をぶらぶらするのではなく、友人たちとの会合など、見栄を張って出掛けるような機会がなければ、服が売れない。
	×	乗用車販売店（経営者）	・仕入価格が高いか、商品がないかのどちらかである。いつまで今の状況が続くのか、分からない。
	×	住関連専門店（店長）	・輸入原価の高騰、貨物の入港の遅れなどが目立ち、売りにくさはむしろ増している。
	×	競輪場（職員）	・新型コロナウイルス新変異株の感染拡大が懸念されるほか、物価の上昇も不安材料である。
企業 動向 関連  (近畿)	◎	木材木製品製造業（経営者）	・コロナ禍の影響で、通常の営業ができなくなっており、売上、利益共にかなり低迷している。旧正月が明ければ、ある程度コンテナ不足も改善され、海上運賃も通常の水準に向かう。それに伴い、これまでの販売価格でも利益が出るようになると予想している。
	○	金属製品製造業（経営者）	・年度末にかけて通常の動きに戻るといふ、受注の内示があったため、期待している。
	○	金属製品製造業（営業担当）	・国内の建築向けの受注も底を打ち、少し出荷量が増えつつある。
	○	一般機械器具製造業（経営者）	・取引先の投資姿勢が少し前向きになってきたように感じる。受注の回復には至っていないが、引き合いが少し活発になっている。
	○	電気機械器具製造業（経営者）	・本当はしばらく様子を見る必要があるが、それでも景気は悪くならないと判断している。
	○	輸送用機械器具製造業（役員）	・受注が増えつつあるが、納入は来年の8月以降となっている。

○	その他製造業〔履物〕 (団体職員)	・新型コロナウイルスの新規感染者数が落ち着きをみせる一方、新型コロナウイルス新変異株の感染が広がっているが、ワクチン接種や経口薬の普及により、インフルエンザと同じような扱いとなれば、経済も上向きになることが期待される。
○	建設業（経営者）	・動き出した案件があるほか、年度末の駆け込み受注も予想されるため、やや良くなる。
○	輸送業（営業担当）	・お歳暮やおせち、冷凍のカニなどの運賃が値上がりした一方、予算が決まっているため、購入商品は全体的に安い物になっている。ただし、荷物量の増加もあり、運送業者は利益が増えている。
○	金融業〔投資運用業〕 (代表)	・新型コロナウイルスの新規感染者数は減少しており、経済活動も再開している。数か月では難しいかもしれないが、1～2年を掛けて回復が進む。
○	広告代理店（営業担当）	・今年は毎月、紙媒体、Web媒体共に、広告売上は前年を上回る状態が続いている。
○	経営コンサルタント	・取引先の販売戦略面では、年末や春先に向けて戦略を立てて推進してきた結果、成果が上がりつつある。人材育成面においても、これまで培ってきた戦略を更に深めていく。
□	繊維工業（総務担当）	・取引先の販売の増加に伴い、出張の頻度が増加し、経費が増えている。
□	パルプ・紙・紙加工品製造業（経営者）	・原材料価格が上がっているが、どこまで価格転嫁できるかわからない。
□	出版・印刷・同関連産業 (企画営業担当)	・来年度の受注量も、今年度と大きくは変わらないと予想している。
□	化学工業（経営者）	・ここ数か月は受注量、販売量共に、前年比で110%、前々年比で90%といった水準で推移しており、大きな変化はない。
□	プラスチック製品製造業 (経営者)	・景気の良くなる材料が少なすぎる。低成長のなかでも利益を出す仕組みがあるため、落ち込みはないが、プラスチック材料を見出さなければ先行きが心配である。
□	窯業・土石製品製造業 (管理担当)	・新型コロナウイルス新変異株の感染拡大で、先行きは不透明である。新薬の開発は着実に進んでいるが、新型コロナウイルス新変異株の感染が広がる可能性もある。先行きは不透明であるが、経済も回す必要があるため、人流が極端に減ることはないと言われる。さらに、円安や原材料価格の高騰、半導体の供給不足などの懸念材料もあるが、景気に大きな影響はなさそうである。
□	金属製品製造業（開発担当）	・受注が増えない恐れがある。
□	一般機械器具製造業（設計担当）	・様々な資材や部品の供給不足があるほか、価格高騰の影響も出てくるが、まだ許容範囲であると感じる。
□	電気機械器具製造業（経理担当）	・半導体を始めとする電子部品の入手に、かかってないほど苦労している。この状況では全く先が見通せず、引き合いがあっても受注に踏み切れない。半導体に関しては、以前から国内生産の必要性がいわれていたが、やはり今の世界の状況からしても、一定の国内生産は必要と感じる。
□	電気機械器具製造業（宣伝担当）	・緊急事態宣言時よりも街に人が戻っているが、景気の明らかな回復はみられない。今後は新型コロナウイルス新変異株の感染拡大も懸念される。
□	建設業（経営者）	・コロナ禍の影響で、設備投資の計画が凍結や延期になりつつあるほか、資材価格の高騰や納期の問題が重なり、今後も状況は不透明である。
□	輸送業（商品管理担当）	・例年1～2月は売上が減るほか、今年は新型コロナウイルスの影響も出てくるため、良くなることはない。
□	金融業（営業担当）	・今年1年間は徐々に上向きの動きが出てきたが、新型コロナウイルスの感染状況により、先行きは不透明である。
□	経営コンサルタント	・商店街の店主の間では、商店街の買物客数は以前の水準に戻らないと認識されている。以前の7～8割程度との見方が多い一方、その減少分をどうやって補うかは考えられていない。
□	その他サービス〔自動車修理〕 (経営者)	・今年の年末も、慌ただしさがないまま終わる。年明けも忙しなさそうである。



	□	その他サービス業〔店舗開発〕（従業員）	・新型コロナウイルス新変異株の市中感染が始まったが、1月中旬には新規感染者数が急速に増え、政府、各自治体による何らかの規制が行われる可能性が高い。一方、経口薬などの普及が始まることで、感染は春先には落ち着くと予想される。
	□	その他非製造業〔機械器具卸〕（経営者）	・今後も受注につながるような物件や見積りが少ない。
	□	その他非製造業〔商社〕（営業担当）	・製品の納入時期や、生産状況が正常化する時期によるが、3か月程度では正常化しないと予想される。
	▲	食料品製造業（従業員）	・ここ数か月で、全ての原材料や資材価格の値上げが実施される。製品の販売価格に転嫁すると、量販店との取引がなくなることも想定されるため、最終製品の値上げには踏み切れていない。
	▲	食料品製造業（営業担当）	・新型コロナウイルス新変異株の新規感染者数が増えつつある。感染第6波が発生すると、また人の流れが変わり、景気も低迷する。
	▲	繊維工業（団体職員）	・新型コロナウイルス新変異株の感染が広がりつつあり、年始の状況次第では景気の悪化が進みそうである。
	▲	繊維工業（総務担当）	・経費の増加による影響で、利益の悪化が顕著となっている。
	▲	電気機械器具製造業（営業担当）	・材料がなければ、仕事があっても断るしかない。
	▲	建設業（経営者）	・コロナ禍による景気の冷え込みに加え、大雪の影響で仕事の進捗に遅れが生じるおそれがある。
	▲	建設業（営業担当）	・仕入れコストの上昇で増えた原価のうち、販売価格に転嫁できない部分が、利益を圧迫する可能性がある。
	▲	輸送業（営業担当）	・新型コロナウイルス新変異株の感染拡大で、海外ではロックダウンが始まったため、今後は悪くなる。
	▲	金融業（副支店長）	・客との会話によると、新型コロナウイルス新変異株の感染が拡大することで、消費は少し冷え込む可能性がある。
	▲	広告代理店（営業担当）	・年明け以降、新型コロナウイルス新変異株の新規感染者数が更に増えれば、感染の収束までは、広告の出稿が厳しくなりそうである。
	▲	司法書士	・感染力の強い新型コロナウイルス新変異株の市中感染が始まっている。年末年始の人流を考えると、今後の感染拡大が懸念され、強めの対策が必要になる。
	×	化学工業（企画担当）	・食品の原料価格の高騰が止まらず、改善の見込みがない。値上げが追い付かない状況が続いているため、通常であれば年末年始の食品最需要期であるが、利益の出ない状況になっている。
	×	通信業（管理担当）	・原油価格の上昇による影響で悪くなる。
	×	不動産業（営業担当）	・新型コロナウイルス新変異株の感染拡大が世界中で広がっている。まだ国内ではそれほど広がっていないが、近いうちに広がることから、景気は悪くなる。
	×	その他非製造業〔電気業〕（営業担当）	・新型コロナウイルスの感染収束の見通しが立たない。
雇用 関連 (近畿)	◎	人材派遣会社（支店長）	・年度末に向けて、更に求人数が増えるかと予想される。
	○	人材派遣会社（役員）	・新型コロナウイルス新変異株の感染状況にもよるが、年が改まり、ムードを変えようという機運が盛り上がってくる。
	○	人材派遣会社（営業担当）	・新型コロナウイルスの感染も落ち着き、企業活動が通常に戻りつつある。採用についても回復の動きが見られる。
	○	人材派遣会社（管理担当）	・徐々に回復していくと予想されるが、今後は新型コロナウイルスの新規感染者数の動向から目を離せない。特に、新型コロナウイルス新変異株の感染拡大が気になることである。
	○	職業安定所（職員）	・新型コロナウイルス新変異株の影響が心配されるが、その影響がなければ景気は上向いていく。
	○	民間職業紹介機関（営業担当）	・今後3か月は、新卒採用市場でも求人の動きが激しい時期で、来年度の採用に向けた求人の掲載が活発化すると予想される。特に来年度は、今年度、前年度にコロナ禍で採用を縮小させた企業の動きが戻ると予想されるため、景気としては良くなる。
	○	民間職業紹介機関（営業担当）	・コロナ禍による特需に加えて、通常の派遣求人も増えている。

□	人材派遣会社（経営者）	・年度末に向けてかなり忙しくなってくる。IT関連の需要は相当強く、コロナ禍前のように優秀なIT技術者の契約はすぐに決まる。企業は新型コロナウイルスの感染第6波の発生を想定しているため、今は派遣社員で対応しようとしている。
□	人材派遣会社（営業担当）	・新型コロナウイルス新変異株の市中での新規感染者数が、今後どうなるかに左右される。経口薬の提供や、3回目のワクチン接種のタイミングが早まることを期待したい。
□	新聞社〔求人広告〕（管理担当）	・感染力が非常に強い新型コロナウイルス新変異株の感染が、韓国や欧米では急拡大している。国内でも市中感染が始まりつつあり、その状況次第で景気は上にも下にも変化する可能性がある。ただし、新型コロナウイルス新変異株は重症化しにくいといわれるほか、飲み薬の承認や、3回目のワクチン接種も進むとみられる。それに伴い、感染第6波で新規感染者数が急増しても、第5波のような景気への大きなダメージは避けられる。
□	新聞社〔求人広告〕（担当者）	・多くの企業が年度末を迎えるが、新聞広告の出稿状況を見ると、良くもなく悪くもない。
□	職業安定所（職員）	・今後の見通しについて、新規求人数は単月で卸売・小売、宿泊・飲食が増加したが、企業からは原材料費の高騰や新型コロナウイルス新変異株の感染拡大への懸念があり、まだ力強さは感じられない。一方、求職者の増加で労働市場がひっ迫する懸念もあり、今後は注視が必要である。
□	職業安定所（職員）	・新型コロナウイルス新変異株の感染状況次第で、飲食サービス業や宿泊業が再び大きな影響を受けると予想される。全体として、先行きは不透明な状況である。
□	民間職業紹介機関（職員）	・原材料の不足や価格の高騰、輸送コストの上昇、新型コロナウイルス新変異株の感染拡大、人手不足など、景気回復に向けた懸念材料の払拭に時間が掛かる。
□	民間職業紹介機関（営業担当）	・コロナ禍が収束しなければ、先行きの見通しが立たない。
□	学校〔大学〕（就職担当）	・就職が決まっていない4年生が心配であるが、まずはこれから始まる国家試験をクリアすることが最大の課題である。
□	学校〔大学〕（就職担当）	・消費者の生活が苦しくなるため、物価上昇が景気を押し上げるとは思えない。また採用活動においても、目標人数が確保できなくても終了する傾向があるため、先行きは不透明である。
▲	アウトソーシング企業（社員）	・人手不足であるが、人手の確保ができないどころか、雇止めの話が出ている。
▲	新聞社〔求人広告〕（営業担当）	・国内の新型コロナウイルスの新規感染者数が少しずつ増えている。いろいろな制限が解除され、感染に対しての緊張感も緩んでいるように感じる。各国の感染状況から考えても、日本も数か月先には爆発的に拡大している可能性が高い。
×	—	—